

# 地域連携の取組み in しずおか

平成29年7月から平成30年6月までに、東海財務局静岡財務事務所が実施した地域連携の取組みについてご紹介します。

## 伝える（各種講演、学校教育、PR活動）

### ●静岡英和学院大学にて財政講演（平成29年7月19日）

静岡英和学院大学及び短大の1年生約350人を対象に、静岡財務事務所長が「日本の財政を考えよう」とのテーマで講演を行いました。

1年生全学生が集まる朝の礼拝後の時間に、税金の役割や財政の現状、子育て費用に税金がどれくらい負担しているか等、学生に問いかけながら説明しました。



### ●未成年者喫煙防止啓発キャンペーンに参加（平成29年7月20日）

日本たばこ協会と全国たばこ販売協同組合連合会が、毎年7月を未成年者喫煙防止強化月間と定めて、学校が夏休みに入る時期に未成年者喫煙防止に対する更なる意識向上、キャンペーンに取り組んでおります。

当所も静岡駅前で行われたキャンペーンに参加し、静岡たばこ販売協同組合や日本たばこ産業株式会社静岡支店等の皆様方達と、ティッシュ配布等の啓発活動に協力してまいりました。



### ●常葉大学生が「日本の財政問題を考える」を発表（平成29年7月22日）

常葉大学富士キャンパスで開催されたオープンキャンパスにおいて、経営学部の山本教授と土村准教授のゼミ生による「日本の財政問題を考える」と題した研究成果の発表が行われました。

この研究発表は、平成28年秋から、東海財務局と静岡財務事務所の職員が本ゼミに参画し、基調講義とグループ研究におけるアドバイス等を行い、平成29年4月に、グループ別に成果を発表してもらった中から、一組が代表して発表しました。

高校生向けに、資料や説明ぶりが分かり易く組み直され、具体的な数字を用いた自分達なりの施策を発表されています。



## ●常葉大学経営学部にて金融講義（平成29年7月27日）

常葉大学経営学部の学生約170名に向けて、「金融機関とは？銀行の機能、銀行に対する規制、金融行政の現在、金融リテラシー」と金融に関する幅広い内容で講義を行いました。

本講義の前に銀行等から金融講義を受けていたということでしたので、これまでの授業の総括として多少踏み込んだ内容としましたが、学生たちは最後まで真剣なまなざしをもって聞いていただきました。



## ●島田・吉田地区研究オーナー会にて金融講演（平成29年8月3日）

島田市・吉田町の企業経営者約20名と同地区の島田信用金庫の支店長たちを前に「知ってナットク！中小企業の資金調達に役立つ金融知識」と題して金融講演を行いました。

金融機関が行う自己査定や事業性評価の取組みの話、対照的に融資お断りの話等、身を乗り出すように聞いていただきました。講演後、企業経営者の方々からの鋭い質問や意見があり、最後まで緊張感のある金融講演となりました。



## ●特殊詐欺被害防止に向けた街頭PR活動（平成29年8月9日）

未だ拡大に歯止めがかからない「振り込め詐欺をはじめとした特殊詐欺」防止に向け、今年も、財務局、警察、日本郵便株式会社等が連携して、東海四県（岐阜、静岡、愛知、三重）で、一斉に防犯PR活動を実施しました。

静岡会場では、当所職員が参加し、朝8時から静岡駅コンコースにおいて、特殊詐欺防止団扇（900個）を配布し防犯を呼びかけました。（日本郵便株式会社様のキャラクター、ぼすくまと記念撮影）



## ●磐田信用金庫職員向け経済・財政講演（平成29年8月26日）

磐田信用金庫の主に営業を担当する職員の皆様に経済・財政講演を行いました。

お客様と対話するうえで必要な一般教養として、「地域経済や財政の現状等」をテーマとした勉強会の開催にあたり、当所の講師派遣を活用して頂いたものです。

「静岡県内の経済情勢」や「財政の現状と課題」にかかる説明に加え、金融機関のお客様である中小企業の課題解決に資する情報として、厚生労働省（静岡労働局）が所管する「中小企業の生産性向上に資する各種助成金」についてもPRさせて頂きました。

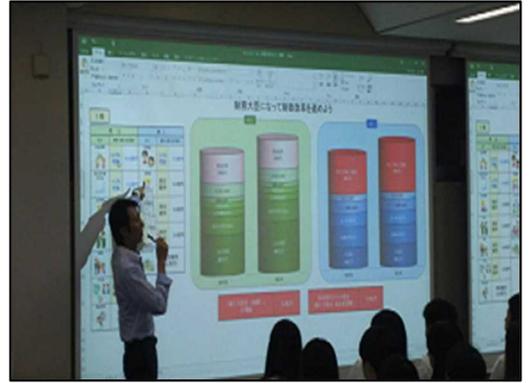


## ●富士市立高校にて財政探求プログラムを始動（平成29年9月12日）

昨年度に引き続き、富士市立高校において、総合探求科3年生（2クラス83名）を対象に、「財政」を題材とした主催者授業『財政探究プログラム』を開始しました。

当該授業全10回のうち3回において、当局の若手職員が講師等として参加しています。

今後の授業では、グループによる予算案シミュレーションに挑戦することとしており、その際には、常葉大学の学生（昨年、当該大学のゼミにおいて「財政」に関する授業を実施）にも参画していただくこととしております。



## ●金融犯罪被害防止に向けた講演を実施（平成29年9月13日）

焼津市大村公民館が開講している女性講座において、「金融犯罪被害防止」に向けた講演を行いました。

金融犯罪は依然として後を絶たない中、被害に遭うことのないよう「還付金詐欺」、「オレオレ詐欺」のほか、最近静岡県内で多発している「キャッシュカード受取詐欺」について、その手口と防止策を寸劇も交えながら説明しました。



## ●吉田町商工会にて経済講演（平成29年10月12日）

吉田町商工会の理事会において、最近の地域経済情勢など足下の静岡県の景気動向に加え、29年度から新たに取組んでいる中小事業者支援施策（生産性向上、事業承継等）の説明を行いました。



## ●投資詐欺被害防止に向けた街頭注意キャンペーンを実施（平成29年10月13日）

依然として高齢者を中心に深刻な社会問題となっている「株や社債をかたった投資詐欺」被害の防止を図るため、JR静岡駅において警察や証券業界等と連携して街頭キャンペーンを実施しました。



## ●常葉大学にて財政講座を開催（平成29年10月18日）

昨年度に引き続き、常葉大学経営学部山本教授及び土村准教授のゼミに参画し、アクティブラーニングを活用した財政講座を開催しました。

ゼミ生30名を対象に、国の財政の現状と課題について基調講座を行ったあと、自分たちが考える将来の財政の姿について、当局の若手職員がファシリテーター役に加わりグループワークを行いました。



## ●静岡県中小企業診断士協会主催イベントにて講演（平成29年11月1日）

一般社団法人静岡県中小企業診断士協会が主催する「静岡県中小企業診断士フェスタ2017」（後援：当所、静岡県、県内地域金融機関等）において、「最近の金融・経済情勢」についての講演を行いました。

また、当日は多くの中小企業診断士の方が参加されたことから、上記内容に加え、生産性の向上や事業承継等に対する政府の施策等についても説明しました。



## ●未成年者喫煙防止街頭啓発キャンペーンに参加（平成29年11月1日）

たばこ業界では青少年の健全育成を図るための取組みの一環として、毎年「未成年者喫煙防止街頭啓発キャンペーン」を実施しています。

当所もJR静岡駅で行われたキャンペーンに参加し、静岡たばこ販売協同組合や日本たばこ産業株式会社静岡支店等の関係者とともに、ティッシュ配布を行い未成年者の喫煙防止を広く呼びかけました。



## ●静岡税務署との連携による税と財政の講演（平成29年11月2日）

静岡県立大学経営情報学部の学生約140名に、財政及び租税に対する理解を深めてもらおうと静岡財務事務所長と静岡税務署長によるコラボ講演を実施しました。

当所長からは「日本の財政や社会保障制度の現状及び課題」について、税務署長からは「国際課税分野の現状及び取組」について、わかりやすく解説しました。

なお、当所と静岡税務署とは連携した広報を進めており、静岡高校においても同様の講演を実施しました。



## ●常葉大学学園祭にて子育て世代向けマネー・財政講座を開催 (平成29年11月4日)

常葉大学富士キャンパスの学園祭において、子育て世代向けマネー・財政講座を開催しました。

気軽に聞いていただけるよう、講師は育児中の男性職員と若手女性職員がコンビを組み、掛け合いしながら、ライフプランを考えることの大切さやライフイベントの大きな支出となる三大資金などについて説明しました。

なお、開催にあたり、会場設営やチラシ作成・配布等、同大学山本教授のゼミ生（昨年、同大学のゼミにおいて「財政」に関する授業を実施）の協力を頂きました。



## ●静岡大学寄付講座にて財政・経済・金融講義 (平成29年11月6、13、20日)

静岡県信用金庫協会が静岡大学で開講している寄付講座（29年10月から30年11月までの全15コマ）のうち、同協会から依頼を受け、当所において3コマの授業を担当しました。

第1回目（11月6日）の講義では、東海財務局の業務説明のほか、国の財政状況及び静岡県内の経済情勢について解説しました。第2、3回目（11月13日、20日）では、金融行政（金融機関等に対する検査、監督）について、わかりやすく解説いたしました。



## ●富士市立高等学校にて「財政探究プログラム」(平成29年11月28日)

本件については、先（9月12日）にお知らせいたしましたが、今般第2、第3回目の授業を実施しました。

第2回目（10月31日）では、生徒達に財政の改革案（予算案）についてグループワークを、第3回目（11月28日）では、各グループからプレゼンテーションを行っていただきました。

特にグループワークでは、授業効果を高めるため、生徒と年齢の近い入局2、3年目の静岡財務事務所及び沼津出張所職員がグループワークにおけるファシリテーターとして参加。また、昨年、常葉大学のゼミにおいて、「財政」に関する授業を受けていただいた学生にも、生徒のアドバイザー役として授業に参画して頂きました。



## ●常葉大学にて財政講演を実施（平成29年12月6日）

常葉大学経営学部の一年生（190名）の皆さんに「日本の財政の現状」について講義を行いました。同大学での講義は昨年に引き続き2回目です。

講義のなかでは、特に、「歳出の3分の1を医療、介護などの社会保険費が占めていること」、「少子高齢化がもたらす財政への問題」について理解を深めていただきました。



## ●消費者被害防止年末街頭キャンペーンに参加（平成29年12月12日）

消費者被害が多発する年末に向けて、職員5名が静岡県中部県民生活センター主催のキャンペーンに参加しました。

静岡駅改札前でチラシ等を配布し、消費者ドラブルに注意するよう広く呼びかけました。



## ●所長がラジオ番組に出演（平成29年12月13日）

所長がSBS（静岡放送）ラジオの「IPPO（いっぽ）」の「情報三枚おろし」というコーナーに出演し、県内の景気の状態等について解説を行いました。



## ●静岡県中小企業家同友会主催イベントにて講演（平成29年12月18日）

当所の後援で静岡県中小企業家同友会が、金融庁の日下智晴地域金融機関等モニタリング室長を講師に招き、「地域金融機関の金融仲介」と題した講演会を行いました。

会員企業の経営者のほか、県内地銀、信金の融資担当者ら300人が参加し、中小企業と金融機関との関わりについて理解を深めていただきました。



## ●静岡県立大学にて講演（平成29年12月19日）

静岡県立大学経営情報学部の1年生約100名に対して、総合政策概論の授業の一環で、所長が人口減少がもたらす国内経済への影響等について講義を行いました。



## ●川根本町商工会女性部会にて財政講演（平成29年12月26日）

地域連携対話をきっかけに川根本町商工会からの依頼を受けて、同会の女性部会において、「日本の財政を考えよう」とのテーマで、税金の使いみちなどの講演を行いました。



## ●常葉大学にて財政講座（平成30年1月10日）

常葉大学経営学部山本教授、土村准教授が開講しているゼミでは「将来の財政のあり方」を探求しているなか、当所も同ゼミに参画しています。（後期授業のうち、3回に参加。これまで基調講演等を実施。）

第3回目となる今回は、ゼミ生がグループごとに取りまとめた「自分たちが考える将来の財政の姿」の発表会に参加し、発表内容に対して助言やアドバイスなどを行いました。なお、発表の中で「財政健全化のためには諸外国の例を参考に少子化対策に重点を置く必要がある」などの意見が出されました。



## ●湖西市立白須賀中学校にて財政教育プログラム（平成30年1月15日）

湖西市立白須賀中学校の3年生33人が国の予算について考えました。

東海財務局の職員が歳入、歳出等の説明を行った後、生徒たちは6グループに分かれ、当所の若手職員等の指導を受けながらタブレット端末を使って予算編成のシミュレーションを行いました。

生徒からは、「税収が少なく、歳出が増えている状況を変えなければいけない」等といった意見が出されました。



## ●長泉町商工会・沼津法人会長泉支部・長泉青色申告会主催賀詞交歓会で講演（平成30年1月24日）

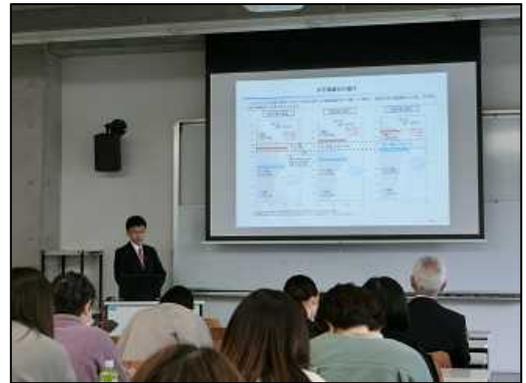
町内企業の経営者や商工、経済関係者ら約170名が参加した賀詞交歓会において、所長が「長泉町のさらなる発展に向けて」と題し講演を行い、当所と町商工会による金融懇談会の取組みなどを紹介し、町、商工会等との一層に連携による町の発展推進について説明しました。



## ●静岡文化芸術大学にて財政講義（平成30年2月2日）

静岡文化芸術大学政策学科の授業「日本経済論」（2、3年生40名）の一環として、当事務所職員が「日本の財政の現状と社会保障」について講義を行いました。

講義では、日本では少子高齢化で社会保障費が年々増加するなか、借金をせずに予算を組むことが難しい実情など、少子高齢化がもたらす財政の問題を中心に解説しました。



## ●金融犯罪被害防止に向けた金融講演（平成30年2月15日）

吉田町さわやかクラブ（老人会）の皆様にも、金融トラブルに遭わないための講演会を行いました。

オレオレ詐欺の最近の手口や、依然頻発しているキャッシュカード受取詐欺などについて、寸劇などを混じえながら解説しました。参加者から、「身に覚えのないハガキが届いた」「不審な電話があった」などの話があり、今後も本活動を継続していく必要性を感じました。



## ●中小企業家同友会中遠支部にて金融講演（平成30年2月22日）

静岡県中小企業家同友会中遠支部の2月例会（28名参加）において「地域金融機関における金融仲介機能の発揮」をテーマに金融講演を行いました。

当日は、地元の地域銀行、信用金庫の支店融資担当者もゲストとして参加していたことから、事業性評価などについて中小企業経営者と金融機関による意見交換も行われました。



## ●長泉町役場にて金融講演（平成30年2月28日）

長泉町職員組合の皆様へ「あなたの資産形成について考える」をテーマに金融セミナーを行いました。

特に、（つみたて）NISAやiDeCoの仕組みなどの解説を通じて、安定的な資産形成の必要性などを説明しました。



## ●国家行政・官庁ツアーで学生との意見交換等を実施（平成30年3月14日）

当事務所では、国家行政に興味のある方を対象に、職場見学や業務説明、職員との懇談など体験型職場訪問「国家行政・官庁ツアー」を開催しました。この取組は東海財務局が名古屋市以外ではじめて開催するものです。

当事務所職員との懇談では、参加者から多数の質問が寄せられるなど、活発な意見交換が行われました。このほか、大学や専門学校でも財務局の業務紹介等を実施しています。



## ●経営者の方々への経済講演（平成30年3月15日、22日）

静岡県経営者協会の理事会（3月15日）並びに焼津市ロータリークラブ例会（3月22日）において、当所が3月12日に公表した県内法人企業景気予測調査等をもとに、最近の県内景気や企業の景況感、中小企業における生産性向上に向けた取組状況や取組促進策等に関する講演を行いました。

講演終了後には、参加された経営者の方々と講演内容等についての意見交換も行いました。



## ●静岡英和学院大学・同大学短期大学部との連携協定等の締結（平成30年3月20日）

当事務所では、静岡英和学院大学・同大学短期大学部と、地域貢献等を柱とした連携協定及び寄付講座に関する覚書を締結しました。

同大学とは、これまでも学生向けの財政講義や大学主催の子育て広場での財政講座など、連携した取組みを実施してきました。

今後は、本協定に基づき、地域のため連携した取組みを積極的に推進してまいります。



## ●日本政策金融公庫とのコラボ講演（平成30年3月27日）

長泉町商工会女性部会から、「税と社会保障の仕組み」と「女性の起業支援制度」に関する講演の要望を受けたことから、日本政策金融公庫と連携し、講演会を実施しました。

講演会では、所長から、「ライフサイクルに合わせた税と社会保障の仕組み」と題し講演を行った後、関東経済産業局の資料を利用して、「女性活躍推進のための基盤整備事業のメニューとなっている創業補助金」について説明しました。

また、日本政策金融公庫からは、公庫が提供している女性向け創業支援制度である「相談体制」、「融資メニュー」などの説明を行いました。



## ●前払式支払手段発行者への業務説明会を開催（平成30年3月6日、7日、27日）

商品券やプリペイドカードなどを発行している前払式支払手段発行者を対象に、静岡市及び沼津市において業務説明会を開催しました。静岡県で説明会を開催するのはこれが初めてとなり、届出・登録している発行者34名が参加しました。

説明会では、利用者保護や発行業務の実務上の留意点などについて説明しました。



## ●ラジオで金融犯罪被害防止を呼び掛け（平成30年4月27日）

当事務所の職員がFM-Hi（株式会社シティエフエム静岡）の「ひるらじ！静岡情報館」にラジオ出演し、近年被害が急増しているキャッシュカード手交型の特殊詐欺の注意喚起を行いました。

特に、警察や金融機関などの職員を騙ってキャッシュカードの詐取、暗証番号の聞き出しなどの犯罪が後を絶ちません。警察官、金融機関の職員、役所の職員などが、「キャッシュカードを預かる」、「暗証番号を尋ねる」ことは絶対にないこと、また怪しいと感じたらすぐに警察や銀行等に連絡することをお伝えしました。



## ●消費者月間街頭キャンペーンに参加（平成30年5月10日）

静岡県中部県民生活センターが主催する「消費者月間街頭キャンペーン」に当事務所職員6名が参加しました。

警察や県民生活センターなどの皆さんと協力して、静岡駅改札前でチラシ等を配布し、消費者トラブルに遭わないよう広く呼びかけました。



## ●菊川市商工会にて経済講演（平成30年5月14日）

菊川市商工会が主催する経営交流会に参加し、最近の静岡県内経済情勢、当事務所が県内の商工会と連携した地域活性化のための取組み事例などについて講演を行いました。

その後の懇親会において、菊川市長から市の地方創生への取組状況などを、また会員企業の方々からは、各社の経営状況や課題などの生の声をお聞きしました。



## ●御前崎市商工会にて経済講演（平成30年6月14日）

本年3月から開催している金融懇談会をきっかけに、御前崎市商工会からの依頼を受けて、同商工会の会員や金融機関等30名の皆さんに「最近の経済情勢と地域経済活性化」をテーマに講演を行いました。

講演では、労働人口が減少するなか、企業の労働生産性を上げるには、効率化とともに付加価値の拡大が必要であることを説明しました。

また、金融機関等の外部機関を活用した事例を紹介するとともに、金融機関と行政が一層協働を進めて、地方創生に取り組んでいく必要性を解説しました。講演後は参加者の皆さんと懇談会を行いました。



## ●静岡文化芸術大学にて金融講演（平成30年6月18日）

静岡文化芸術大学の1年生（90名）の皆さんに講義を行いました。同大学での講義は本年2月に引き続き2度目で、今回は「金融の役割と家計の安定的な資産形成」について解説しました。

講義では、銀行などの金融機関は資金の借り手と貸し手の間に立って、資金仲介機能を果たしていることをはじめ、人口減少や少子高齢化が進展するなか、家計の金融資産を安定的に増大させるためには、投資のリスクを可能な限り軽減しつつ、長期の積立・分散投資も有効であることなどを解説しました。



## ●常葉大学経営学部にて経済講演（平成30年6月20日）

常葉大学経営学部の1年生（約300名）の皆さんに「静岡県の経済や課題について考えよう」とのテーマで講義を行いました。

講義の中では、特に静岡県の経済力を示す指標や県が誇る様々なナンバーワンの項目を紹介し、静岡の魅力について説明するとともに、少子高齢化・人口減少を背景とする課題について理解を深めてもらいました。



# つなげる（プラットフォームの構築等）

## ●静岡県中小企業家同友会及び静岡労働局と意見交換会を開催 （平成29年10月16日）

当所では昨年度から、静岡県中小企業家同友会と連携して、県内における中小企業経営の現状や課題について意見交換を行っています。

今年度は、同友会の要望を踏まえ、県内中小企業者の今一番の経営課題となっている「人手不足」を議題としました。また、併せて静岡労働局長を招致し、「人材確保の現状と対策」について説明いただくとともに、労働局担当者も含めた三者において意見交換会を実施しました。



## ●移住・定住促進に関する地方創生セミナーを開催（平成29年11月24日）

当所ではこれまで、地公体、各種団体を訪問させて頂き、地域の課題や地方創生の取組状況等を把握することに努めてまいりました。その中で、移住・定住促進等に関する参考事例を紹介してほしいとのニーズが数多く聞かれたことから、静岡県の協力も得て、地方創生セミナーを静岡市で開催しました。

第1部として、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局の南参事官から、移住・定住に繋がる施策や先進事例などについて紹介いただき、第2部では徳島県神山町のNPO法人グリーンバレー大南理事長をお招きし、「神山プロジェクト～創造的過疎から考える地方創生～」と題した講演をしていただきました。講演会後には、参加者と講師との懇談会を行いました。



## ●第100回しずおか経済フォーラム開催（平成29年11月29日）

当所では、静岡県内の経済動向を的確に把握することを目的に、昭和54年に「しずおか経済フォーラム（旧名：静岡県景気問題研究会）」を立ち上げ、年数回、地方公共団体、経済団体、シンクタンクなどにお集まりいただき、県内経済について意見交換等を行っており、今般、第100回の開催を迎えることができました。

第100回の記念事業として、現下の県内の大きな課題の一つである「生産性の向上」について、地域経済の識者をパネリストとするパネルディスカッションを実施しました。



## ●長泉商工会と金融機関等との意見交換会を開催（平成29年12月22日）

当所では昨年度から、長泉商工会とともに、長泉町の活性化に向けて、町内に店舗を有する金融機関等に参加を呼びかけて、町も参加した金融懇談会を開催しています。

今年度は、長泉商工会からの提案により、町内の中小企業者が創業から事業承継までをワンストップで相談できる窓口の開設について意見交換を行いました。



## ●御前崎市商工会との金融懇談会を実施（平成30年3月7日）

御前崎市商工会から、会員（地域の中小企業及び小規模事業者）が抱える課題について、信用金庫と意見交換を行い課題解決につなげていきたいとの要望を受け、当事務所がハブとなり、商工会・掛川信金・島田信金が一堂に会して「第一回金融懇談会」を開催しました。

今後も課題解決や地域の活性化のため、定期的に意見交換を実施していくことを確認しました。



## ●静岡県信用金庫協会及び静岡県中小企業家同友会との定期意見交換会（平成30年3月23日）

静岡県信用金庫協会、静岡県中小企業家同友会及び当事務所の定期意見交換会を開催しました。この取組みは、中小企業者の課題解決等を目的に、当事務所の呼びかけにより平成29年3月から行っているものであり、今回が2回目の開催となります。

今回は「中小企業における人手不足、事業承継、生産性向上」をテーマとしたことから、静岡労働局長にも参加いただき意見交換を行いました。今後も、中小企業の課題解決に向け、関係機関と連携した取組みを進めていきます。



## ●長泉町商工会との金融懇談会を実施（平成30年4月23日）

産・官・金が連携して取組んでいる「長泉商工会金融懇談会」に参加しました。当懇談会は、長泉町商工会が地域活性化に取り組む中で、金融機関等を含めたネットワークの形成について相談があり、当事務所がつなぎ役となって開催することとなったもので、今回が6回目となります。

今回は地域の中小企業者及び小規模事業者の経営改善、創業支援及び事業承継等の相談に応じる窓口の開設（平成30年7月予定）、運営方法について検討を行いました。



## ●御前崎市商工会との金融懇談会を実施（平成30年4月24日）

御前崎商工会が主催する「御前崎町金融懇談会」に参加しました。本懇談会は、産・官・金の関係機関（商工会、御前崎市、静岡県保証協会、金融機関、当事務所）が地域活性化に関する意見交換を行う目的で平成30年3月に設立したもので、今回が2回目です。

今回は、事業者が抱えている経営課題である人手不足、経営者の後継者問題、販路開拓について広く意見交換を行ったほか、定期的な経営相談会の開催に向けた具体的検討を行いました。



## ●第101回しずおか経済フォーラムの開催（平成30年5月15日）

101回目となる「しずおか経済フォーラム」を開催しました。

本会議は昭和54年に静岡県内の経済動向を的確に把握することを目的に、経済動向を調査等している機関（経済団体、地方公共団体、シンクタンクなど）が一堂に会して意見交換等を行う場として「静岡県景気問題連絡会」を組成したのが始まりです。

今回は前回（平成29年11月開催）に引き続き、生産性向上をテーマとし、地方公共団体等から生産性向上のための各種支援施策を紹介したほか、県内企業経営者等から相談窓口や専門家派遣制度を活用した成功事例などの説明を受けました。



## ●長泉町の地域経済活性化に向けた連携協定の締結（平成30年5月16日）

長泉町、長泉町商工会、静岡財務事務所、沼津出張所の4者において「地域経済活性化等に関する連携協定」を締結しました。

今後は本協定に基づき、中小企業者の経営改善、創業支援及び事業承継等の相談に応じる窓口の開設（平成30年7月予定）や国の施策の情報提供等、中小企業支援の取組みを通して長泉町を中心とした地域経済の活性化に貢献していきます。

なお、当財務事務所（出張所）が、地方公共団体及び商工団体と連携協定を結ぶのは初めてです。長泉町及び商工会とは、これまでも金融懇談会（町、商工会、当事務所と町内に店舗を有する金融機関との意見等交換会（平成28年11月以降6回開催））の開催などを通じて連携していました。



## ●地方創生懇談会の開催（平成30年5月29日）

「まち・ひと・しごと創生本部」では毎年、金融機関の地方創生に係る取組状況のモニタリング調査を実施しているなか、当財務事務所において、実際に地方公共団体は金融機関の取組みをどのように評価しているのかアンケート調査を実施しました。

その結果では、金融機関と地方公共団体の両者における協働意識の乖離等がみられたことなどから、当事務所が企画・主催して「地方創生懇談会」を開催しました。

本懇談会には、静岡県及び市町26団体と金融機関が参加し、静岡県下の地域創生を推進する上での課題の共有のほか、一層の連携強化などについて議論しました。

今後も静岡県における地方創生のため、ニーズや実態に即した支援等に取り組んでまいります。



## ●長泉町商工会との金融懇談会（平成30年6月4日）

長泉町商工会とともに企画する第7回目の金融懇談会を開催しました。平成30年7月13日に長泉町と同商工会が開設する経営相談窓口について、前回（4月23日）の検討結果を踏まえ、その名称及び運営方法を確認しました。

当懇談会において、名称は「長泉町ワンストップ経営相談窓口」とし、毎月第2・4金曜日に長泉町役場にて商工会に加え、市内に店舗を置く金融機関が中小企業者及び小規模事業者からの経営相談に応じて、課題解決までの筋道をワンストップで対応することを決定しました。



## ●沼津市原地区の「はら逸品フィールドワーク」オリエンテーションに参加 (平成30年6月27日)

沼津市商工会から、原地区の「一店逸品運動事業」(逸品商品の調査及び改善提案(逸品マップの改良提案))に関して、若者の消費者目線・視点から提案を行っていただきたいとの要望を受け、当事務所が静岡県立大学(国保祥子講師ゼミ)に協力依頼を仲介し、同ゼミ生に参画して頂くこととなりました。

キックオフとして開催された本事業のオリエンテーションに、ゼミ生が参加し、松蔭寺や地元の酒造を巡る等、調査を進めるにあたり原地区への理解を深めました。

今後、ゼミ生がグループに分かれて各事業所を訪ね、逸品商品の調査や消費者ヒアリングを行い、来年1月に調査結果の報告を行う予定です(1月の報告会に当事務所も参加予定)。



## 話し合う (意見交換会・勉強会の開催)

### ●保育者等を目指す学生と財政勉強会(平成29年9月28日)

静岡県立大学短期大学部こども学科で保育士を目指しながら、同大学の地域貢献プロジェクト(地域志向研究)に取り組んでいる学生有志8名と「日本の財政を考えよう」をテーマに勉強会(全3回)を開始しました。



### ●静岡県中小企業家同友会主催フォーラムに参加(平成29年11月14日)

静岡県中小企業家同友会主催の全県経営フォーラムが伊東市で開催され、今般、当所職員も参加いたしました。

分科会では、参加者から中小企業経営者が抱える課題などの生の声をお聞きすることができました。



## ●保育者等を目指す学生との財政・保育の勉強会（平成29年11月16日）

平成29年9月から、静岡県立大学短期大学部こども学科副島准教授の御協力の下、同学科で保育士を目指しながら、同大学の地域貢献プロジェクトに取り組んでいる学生8名と財政をテーマに勉強会（全3回）を行っております。

第2回目は、学生からの要望に応じ「こども・子育て支援への財政の関与」や「保育士の処遇改善」について説明しました。また、「保育士の処遇改善」については、専門的見地にたった授業を提供するため、静岡県こども未来課から講師を招致しました。



## ●日本政策金融公庫主催女性活躍推進セミナーに参加（平成29年11月22日）

日本政策金融公庫が開催した「女性活躍推進セミナー」に当局職員2名が参加しました。

本セミナーでは、ワークライフバランスの実現をテーマに、女性経営者による基調講演や意見交換会などが行われました。



## ●森町で若手職員向けに財政講演を実施（平成29年12月1日）

平成29年6月の町の管理職等を対象とした講演に続き、若手職員を対象に財政講演を実施し、「国の財政の現状と課題」や「町の財政状況及び今後の見通し」について説明しました。

参加者からは、「町の行財政の課題が分かり、今後、自らの業務に取り組む際の参考になった」などの感想をいただきました。



## ●保育者等を目指す学生との財政・保育の勉強会（平成30年1月18日）

平成29年9月から、同大学の副島准教授の協力の下、地域貢献プロジェクトに取り組んでいる学生8名と財政・保育をテーマに勉強会を行っているもので、静岡県こども未来課にも協力してもらい実施してきたものです。最終回の今回は、これまでの講義を踏まえ、学生から「今後の財政と社会保障の在り方」等について意見を発表していただき、参加者と意見交換しました。

学生からは「子育てのための相談体制等、心のケアの面での充実が必要ではないか」等といった意見が出されました。



## ●西伊豆町若手職員と地方創生等に係る懇談会を実施（平成30年4月19日）

西伊豆町役場の若手職員が将来のまちづくりについて議論する「西伊豆町の将来を考えるPT」に、当事務所の若手職員が参加しました。本PTに参加するのは昨年を引き続いて2回目です。

PTから、西伊豆町が取組んでいる「地場産業や広域連携商品開発による地域商社事業」、「空き家バンク・お試し移住」等の説明を受け、当事務所からもそれらの施策に対して、金融機関とのマッチングや財政投融資の活用などの提案を行いました。

また、西伊豆町長から、町の活性化の推進のため、こうした連携を継続していきたいとお言葉をいただきました。



## ●静岡県と経済分析手法の勉強会を実施（平成30年5月10日）

静岡県の財務事務所の職員研修として、当事務所における経済分析手法（実際に景気分析を行う際に活用している各種経済指標の見方・有効的な利用方法など）について説明しました。

先方は「静岡県の静岡財務事務所」、当方は「財務省の静岡財務事務所」と非常によく似た名称です。このような取組みを通じて、更につながりを深めていきたいと考えています。

## ●袋井市職員との意見交換会を開催（平成30年5月23日）

袋井市役所の企画財政部及び産業環境部の職員の皆さんと意見交換会を行いました。

この意見交換会は袋井市役所と当事務所の職員が財政・経済等について率直な意見交換を行う場として始めたもので、今回が2回目となります。今回は、袋井市における地方創生の取り組み、袋井市の財政状況などについて意見交換を行いました。

## ●静岡県東部都市財政事務研究会にて経済講演（平成30年5月25日）

静岡県東部都市財政事務研究会（東部11市の財政担当者による研究会）において、昨年を引き続き、静岡県内の経済情勢について説明しました。



## ●湖西市及び湖西市内金融機関との意見交換会に参加(平成30年5月28日)

湖西市が、市内に所在する金融機関の全支店長と行った「職住近接」についての意見交換会に、当事務所からも出席しました。

意見交換に先立ち、児玉所長が地方創生に関する講演を行い、地域創生・地域活性化のため、地方公共団体と金融機関が議論し、連携した取組みを進めていく必要性などについて解説しました。

その後の意見交換会では、市内に大型商業施設がないことが移住定住を推進するうえでネックになっているなどの課題が浮き彫りになりました。

湖西市では、今後も金融機関と連携しながら実現化に取り組んでいくとのことで、当事務所としてもこうした取組みを積極的にサポートしていきたいと考えています。



## ●森町財政研修会にて経済講演(平成30年6月1日)

森町役場において町職員向けの講演(3回目)を実施しました。これまでに同町で実施した財政等に関する講演に引き続き、管理職等を中心とする職員の皆様(約50名)を対象に、当事務所における経済分析手法(実際に景気分析を行う際に活用している各種経済指標の見方など)や、県内経済情勢について説明しました。

参加者からは、「計数分析の手法を業務に活用したい」や、「地域経済を知ることも、地域の生活を理解する上で必要だと思った」といった声をいただきました。



## うかがう(企業等への訪問)

### ●せいしんビジネスクラブ設立30周年記念式典祝辞(平成29年7月19日)

静清信用金庫の取引先企業で構成する「せいしんビジネスクラブ(350会員)」の設立30周年記念式典にお呼びいただきました。

30年の長きに亘り会を継続運営されてきたこと、及び金融機関として、若手経営者や後継経営者の育成や交流の場を早くから設けてきたことに敬意を表し、来賓を代表してお祝いの挨拶を致しました。



## ●先生（せんじょう）精機株式会社を訪問（平成29年8月3日）

金融機関の若手経営者の会で、先生総務部長と懇談させていただいたことをきっかけに、本社を訪問し、先生社長と総務部長から、会社概要、最近の景況等々御説明いただき、意見交換をさせていただきました。



## ●花の舞酒造株式会社を訪問（平成29年10月2日）

花の舞酒造株式会社の本社（浜松市）を訪問しました。当社は、主力を日本酒（地酒）とし、出荷量は県内最大手の日本酒メーカーです。

当日は、高木和夫代表取締役、福田日出男取締役をはじめ、役職員のみなさまから、最近の景況等や生産性向上のための取組みについて、お話を伺いました。



## ●株式会社ミズノテックを訪問（平成29年10月30日）

株式会社ミズノテックの藤枝工場を訪問しました。当社は、プレス加工等の技術を活かした自動車用照明器具部品等のメーカーで、新型機械の導入等で生産性向上に取り組んでいます。

当日は、水野一保会長、水野孝昭社長をはじめ、役員の方々と最近の景況や生産性向上に関する取組等について意見交換しました。



## ●株式会社イトーを訪問（平成29年11月16日）

株式会社イトーの本社（島田市）を訪問しました。当社は、紡績工場用の綿ぼこり除去部品のメーカーです。当日は、伊藤取締役会長、伊藤代表取締役から、最近の景況等や生産性向上のための取組みについてお話を伺いました。

11月29日に当事務所で開催した「しずおか経済フォーラム」のなかで、生産性向上のための好事例として、当社の「外部機関を活用した新商品の開発・販売や効率化などの取組み」を紹介しました。



## ●丸尾興商株式会社への訪問（平30年3月8日）

管工機材卸商社の丸尾興商株式会社専務取締役の豊田浩子様を訪問し、男女共同参画や働き方改革などをテーマに意見交換を行いました。

当社は、1951年の会社設立当初から、ロールモデルとなる女性社員が存在し、男女共同参画に力を入れられているとのこと。現在では、女性リーダーが3割を占めているほか、営業も男女ペアサポート体制を敷いているほか、希望すれば、65歳までの継続雇用後も働ける仕組みがあるとのこと。常に創意工夫して社員が働きやすい職場づくりに取り組んでおられます。



## ●有限会社キタガワビジネスサービスへの訪問（平成30年3月28日）

人材派遣や業務請負などの総合人材サービス企業の「有限会社キタガワビジネスサービス」（静岡市清水区）取締役の北川信央様を訪問しました。

当社では、静岡の街の魅力向上や女性の活躍なども展開されておられます。今回はシニア層や子育て中の女性が働きやすい職場カイゼンの内容や働く女性人材プラットフォーム事業（コワーキングスペース、その場所で働く女性が利用できる保育園及び住居スペースが一体となった複合施設整備）の取組みなどについて、お話を伺いました。



## ●丸七製茶株式会社への訪問（平成30年4月10日）

日本茶OEM製造（相手先ブランド生産）で日本トップクラスの生産量を誇る「丸七製茶株式会社」（藤枝市）代表取締役社長の鈴木成彦様を訪問しました。

当社は、お茶の味しさを直接伝えるため、直営店「ななや」を設立するなど、お茶の価値を高めていくためのブランディング活動に注力して取り組んでいるとのことです。  
当日は、製茶業界の海外展開の状況のほか、当社における人材確保及び生産性の向上の取組みなどのお話を伺いました。



## ●伊豆箱根鉄道株式会社への訪問（平成30年5月7日）

箱根、伊豆をメインエリアとする鉄道事業や遊覧船・ケーブルカー等の観光事業など、幅広く事業を展開している「伊豆箱根鉄道株式会社」（三島市）代表取締役社長の伍堂文康様を訪問し、伊豆地域の景況感、観光業の現状と課題及び今後の展望等について、意見交換を行いました。

なお、同社とは、今後、定期的に経済情勢等について情報交換を行っていくこととなりました。



## ●島田、牧之原地域の地元茶業者を訪問（平成30年5月、6月）

島田信用金庫主催の茶業者懇談会「静岡茶2018」でお会いした島田、牧之原地域の茶業者を訪問し、静岡の茶業界の現状と課題についてお話を伺いました。

そのなかで、「静岡は荒茶生産量、茶園面積等は日本一だが、減少傾向にあり、生活スタイルの変化等から急須でお茶を飲む習慣が減少し価格が低下していること」、「高齢化等から傾斜農地を中心に耕作放棄地が増加していること」、「他県に比べて生産性が低いこと」等を課題に挙げられました。

今後、耕作放棄地の開放、生産性向上のための基盤整備、茶生産の人材確保など、地域だけでなく、県を挙げて課題解決に取り組んでいくことが必要とのことでした。



今回、訪問させていただいたのは以下の方々です。

株式会社高柳製茶（牧之原市） 高柳虎夫会長、高柳敬将社長（5月21日）

カワサキ機工株式会社（島田市） 川崎洋助社長（5月21日）

株式会社荒畑園（牧之原市） 荒畑賀範社長（5月24日）

ハラダ製茶株式会社（島田市） 原田康会長（6月4日）